

いのちの言の葉2013

富山県教育委員会平成25年度いのちの教育総合支援事業

「いのちの授業」

射水市立放生津小学校 4年
平成25年11月14日実施

【授業の概要】

- 1, サウンドテーブルテニス体験
- 2, 「いのちの先生」の話

【いのちの先生】

塘添 誠次先生

・ 県視聴覚障害者協会理事

(児童の感想)

今日は、とうぞえさんから話を聞きました。話を聞いて思ったことは、今自分があたりまえにしていることは、ともしあわせなことなんだなと思いました。これからも自分を大切にしながらがんばっていきたいです。



(保護者より)

人間ってね、生まれてくること自体が奇跡に近いんだって。そんな中、五体満足に何不自由ない体で生まれてきたことは、あたりまえでも何でもなく、本当に素晴らしいことなんだと思います。だからね、体は、命は大切にしなければいけないんだと思います。



(児童の感想)

ふだんふつうに出来ていることが、目や耳がつかえないというハンディをのり越えて、前向きに生きることのすばらしさと命の重みを感じました。

(保護者より)

今日、外出先で白杖を持ったご夫婦の方に出会った時に、〇〇が「二人で大丈夫かな？」と心配しているのを見て、塘添先生のお話を聞いて視覚障害のある方の大変さを知っていたからだと気づきました。お二人は協力して、点字ブロックと手すりの点字をたよりに進んでおられました。人と人が助け合って協力することで、みんなが安心して過ごせることが、とても幸せなことなんだと私もあらためて気づきました。